

日 時：令和6年10月10日（木）14：00～15：25

場 所：えーるピア久留米 301・302学習室

出席委員：古賀裕二委員、藤村やよい委員、境洋子委員、佐藤貴善委員、酒井香委員（全員出席）

1 開会

プレゼンテーション審査の進め方等の確認を行った。

2 プレゼンテーション審査

書類審査を通過した1団体について、提案内容についての趣旨説明を聴取し、委員による質疑応答を行った。その概要は以下のとおりである。

委員 今回の応募の理由と団体としての強みは。

申請者 私たちが管理する石橋文化センターという複合文化施設が隣接しており、両施設の利用者が垣根なく、交流できる状態が理想的だと思うので、ぜひ継続して管理を手掛けたい。

委員 継続して管理をすることになったら、一番改善したい点は何か。

申請者 施設の老朽化が顕著となっている。軽微な部分は日常の管理の中で極力コストをかけず対応していくが、中長期の計画を立てて対応しないと見えてきている。文化センターも共通する問題があるので、計画的な修繕等が行えるような提案をしたいと考えている。

委員 地域経済への取り組みは。

申請者 施設の中心の活動である生涯学習の自主事業を行っているが、講師を地元から優先して選んでいる。また、管理運営の中で専門業者に委託する場合も地元を優先して選ぶようにしている。

委員 講師の登録システムがあるのか。

申請者 施設独自の登録はしていない。LLアドバイザーや市内の大学や専門機関等に依頼している。

委員 財団が指定管理者となった場合の利用者・利用団体にとってのメリットは。

申請者 基本は条例等にのっとりた管理運営だが、長く管理運営しているため、利用者の要望を受けた細かい対応ができる。登録サークルからも安心いただいている。アンケートでも対応について一定の評価をいただいている。

委員 利用者を拡大する方策は。また今後の自主事業の考え方は。

申請者 自主事業を通じたPRや、石橋文化センター内の施設利用者にこちらのイベントチラシや広報物を同封したり、施設に設置したり、またWEBページでの広報などに力を入れていきたい。

委員 令和5年に空調の全面改修をされているが、削減効果は。

申請者 現在モニター中であるが、一定の削減が見込める。

委員 中長期的な修繕が必要とのことだが、資料に記載の修繕費は。

申請者 軽微な修繕に対する費用である。他でコスト削減できれば、その分も改修に充てたいとは考えている。

委員 今は利用者も増えているが、またコロナ禍のような状況になった場合は、どのような対応を考えているか。

申請者 管理経費は変えられないので、自主事業にかかる広報経費などを様々な手法を活用しながら、削減するなどしたい。

委員 公益財団法人としての財政的な安定が必要だと考えるが、現状は。

- 申請者 財団としては、今年度でいえば、ホールや美術館など施設の利用者はコロナ前程度に増えており、利用料収入も増えている。酷暑のため夏季の屋外イベントへの来園者が減少し、カフェ等は若干苦戦しているが、駐車場収入は順調であり、財政面としては安定している。
- 委員 どのような視点で配置人員の選考を考えているか。
- 申請者 現在、私が館長として統括をしているが、日常業務の管理責任は、市役所OBのチーフが担っている。私は財団本体との大枠の経営方針等と現場をつなぐ役割として動いている。パート職員については、民間企業等で長年勤務された方を中心に採用しており、利用者との接客対応等も良好である。
- 委員 経験や専門性も含めて選考されているということか。
- 申請者 はい。
- 委員 年間5~6万人が利用している中で、この職員数で十分対応できているか。
- 申請者 利用受付後は、さほど人手を要しない。朝の申し込み開始時間や休館日等の関係で申し込みが混む日があるが、そこに傾斜をかけてシフトを組むので日常業務は対応できる。人手が必要な時は館長も従事する。
- 委員 職員の労務管理についての考えは。
- 申請者 契約時間どおりで時間外勤務は極力出ないように、また公休も必ず取得し年休も消化してもらおうよう努めている。事務所には重要な書類等も保管しているので、休憩の取り方等細かく指導している。
- 委員 現在勤務されている方の男女比は。
- 申請者 男性3名、女性2名。
- 委員 事業計画を立てる中で重視している点は。
- 申請者 仕様書では、自主事業に様々なテーマが上げられているが、トータルとして、多くの世代に参加してもらえるようなイベントの組み方に気を付けている。
- 委員 野中生涯学習センターの運営で、特に重要だと考えていることは。
- 申請者 平日昼間等は常連の高齢者利用が多いが、その生き生きと真剣に活動されている様子を様々な方に紹介できればと考える。直近で卓球大会を企画しているが、小学生から高齢者まで参加申し込みがある。生き生きと日常を楽しむ姿を、若い世代に見せられるような流れが重要だと考える。

3 議事

(1) 優先交渉権者（指定管理者候補者）等の選定について

各委員から審査票を回収し、事務局で集計した結果について確認・協議のうえ、優先交渉権者を決定した。なお、決定にあたって、以下のような講評を行った。

- ・安定感があり、事業もしっかり行い、細かい対応もされている。新規事業や広報にも工夫があり、好感をもった。最小限の人員で頑張っておられるようだが、対応も工夫され評価している。
- ・これまでの経験は強い。計画書等もそつなく書かれており、特に申し上げることはない。
- ・隣接した施設だから管理運営ができるのかなと考える。利用者の偏りがある中で対応ができるのは他にはないのではないか。
- ・長年にわたって管理運営されていること、近隣に関連施設があり人的連携ができることは強みだと思う。以前、施設を利用した際、できる限りのニーズを汲み取っていただき、丁寧な対応をしていただいた。よかったと思う。

4 その他

今後の予定について事務局から説明を受けた。

5 閉会